

伊達な  
国際交流員の  
つれづれコラム  
vol.89



アメリカでは日焼けした肌や日光浴が大人気です！熱中症の予防策を講じながら、ぜひ外に出て、夏を楽しんでみてください！（キヤメロン）

「夏の楽しみ」  
Summer Fun

英訳版を見る▶



太陽の光を浴びる夏がようやく来ました。夏になると、家族で地元の遊園地遊びに行ったことを思い出します。

遊園地内で遊び疲れたら、アイスクリームや地元レストランの料理を食べて休憩していました。また、お弁当を持参したときは、園内への食べ物の持ち込みは禁止されているので、駐車場でお昼ご飯を食べることが多かったです。

家族と車の中でお昼ご飯を食べるのはなぜか思い出深く感じました。小

さいころ、遠足や運動会の際にクラスみんなでお弁当を食べたときと同じような感覚だからでしょうか。

遊園地の一番の楽しみは、すぐ隣にあるウォーターパークです。ここではウォータースライダー、レイジーリバー、巨大プールを楽しむことができます。園内ではビーチチェアで日光浴をしている人たちを数え切れないほど見かけます。

日本では、太陽の日差しを気にしている人が多くいますが、実はア

地域の魅力  
ふる里再発見

夜風退散  
～蚕の天敵～

令和6年度第1回企画展  
伊達のお蚕用具展

9月23日(日)まで  
伊達市保原歴史文化資料館

伊達地方一帯はかつて蚕糸業が盛んな全国屈指の「蚕都」として有名で、多くの人が養蚕に従事していました。特に伊達地方で製造された蚕種（蚕の卵）は、質のいい繭が出来るると全国的にも評判でした。しかし、どれだけ蚕が丈夫に成長しても、すべてを台無しにしてしまう生き物がいました。それは夜な夜な現れては蚕を食べてしまう鼠です。蚕を食べられてしまったのは大切な収入を失うことになり、鼠は頭を悩ませる存在でした。鼠の防除方法が確立できていなかった時代、猫を飼う対策のほかに、鼠の天敵となる生き物を描いた絵馬を寺や神社に奉納したり、鼠退散の御札を蚕室に飾ったりするなどの、被害にあわないための



養蚕農家が所有していた御札

願掛けを行っていました。写真は伊達市梁川町の養蚕農家が所有していた御札で、「夜風退散」の文字が見えます。鼠を文字や言葉に表すことを忌み嫌い「夜風」と表現しました。その他にも養蚕農家は蚕室清浄や養蚕成就を願う御札を飾りました。特に養蚕成就祈願の御札はかかせず、毎年養蚕の仕事が始める前に、神棚または蚕室に飾り、毎朝ご飯を供えました。蚕を育てる部屋である蚕室は、常に清潔で清浄な状態を保つように心掛けていた大切な場所でした。重要有形民俗文化財指定「伊達の蚕種製造および養蚕・製糸関連用具」には、養蚕無事を願う御札も含まれ、内3点を現在開催中の企画展に展示しています。

にじいろのだて(男女共同参画に関するさまざまな用語を紹介)

『男女共同参画社会』… 男女がお互いを尊重し合い、社会のあらゆる分野で性別に関わらず個性と能力を十分に発揮し、喜びや責任を分かち合うことができる社会

